

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公開番号】特開2008-44945(P2008-44945A)

【公開日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-008

【出願番号】特願2007-217628(P2007-217628)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/74	(2006.01)
C 1 2 N	1/20	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 2 3 K	1/16	(2006.01)
A 2 3 K	1/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/74	A
C 1 2 N	1/20	E
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/04	1 7 1
A 2 3 K	1/16	3 0 4 B
A 2 3 K	1/18	A
A 2 3 K	1/18	C
A 2 3 K	1/18	D
A 2 3 K	1/18	B

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月26日(2010.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動物用食品に対する重量比が0.01%またはそれ以上の割合で，*Pediococcus acidilactici*と*Saccharomyces boulardii*を含むプロバイオティクスを粉末状にする製法。

【請求項2】

原虫，病原性微生物，カビ，寄生虫，もしくは，パルボウイルス，ロタウイルス，インフルエンザウイルスを含むウイルスに感染した鳥や哺乳類の抗原に対する免疫応答を高めることにより消化管感染症を効果的に治療する方法ためのプロバイオティクスとして，動物用食品に対する重量比が0.01%またはそれ以上の割合で，*Pediococcus acidilactici*を含む1種類以上のプロバイオティクスを粉末状にする製法。

【請求項3】

1種類以上のプロバイオティクスに，酵母菌*Saccharomyces boulardii*を更に含む請求項2に記載の製法。

【請求項4】

1種類以上のプロバイオティクスを抗生物質と併用し，感染症を治療するための請求項

2に記載のプロバイオティクスの製法。

【請求項5】

プロバイオティクスとして、 1×10^9 CFU (colony forming unit : コロニー形成単位) 以上の2週間以上生存可能な *Pediococcus acidilactic* を含む1種類以上のプロバイオティクスをゼラチンカプセルに包み込む製法。

【請求項6】

1×10^9 CFU (colony forming unit : コロニー形成単位) 以上の2週間以上生存可能な酵母菌 *Saccharomyces boulardii* を更に含む請求項5に記載のプロバイオティクスの製法。

【請求項7】

原虫、病原性微生物、カビ、寄生虫、もしくは、パルボウイルス、口タウイルス、インフルエンザウイルスを含むウイルスに感染した鳥や哺乳類の抗原に対する免疫応答を高めることにより消化管感染症を効果的に治療する方法ためのプロバイオティクスとして、 1×10^9 CFU (colony forming unit : コロニー形成単位) 以上の2週間以上生存可能な *Pediococcus acidilactic* を含む1種類以上のプロバイオティクスをゼラチンカプセルに包み込む製法。

【請求項8】

免疫応答を調整すること、抗体を増やすこと、またはT細胞もしくはヘルパーT細胞の増殖を促進することで、鳥や哺乳類の感染症を治療するための請求項7に記載のプロバイオティクスの製法。

【請求項9】

1種類以上のプロバイオティクスを抗生物質と併用し、感染症を治療するための請求項7に記載のプロバイオティクスの製法。

【請求項10】

1種類以上のプロバイオティクスに、酵母菌 *Saccharomyces boulardii* を更に含む請求項7に記載の製法。